

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

練習は別表「練習会場・練習時間及び注意事項」に基づき実施することができる。注意事項を確認し、練習にあたっては競技役員
の指示に従うこと。

3 招集について

(1) 招集所は本競技場メインスタンド下室内練習場に設ける。(100mスタート側)

(2) 招集開始時刻及び招集完了時刻は下表のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
走高跳・走幅跳・三段跳	50分前	40分前
棒高跳	90分前	80分前
投てき競技	50分前	40分前

(3) 招集の方法について

ア 競技者は招集完了時刻までに招集所で待機し最終点呼を受けること。その際、ナンバーカード(ビブス)・スパイク・衣類・
商標等の点検を受けること。(ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器は、競技
区域内で所持または使用できない。)

イ 代理人による点呼は認めない。2種目を同時に兼ねる競技者は、「2種目同時出場届」(招集所に準備)を競技者係に提出し、
競技の進行に支障がないようにすること。

エ 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は、当該種目を棄権したものとして処理する。

オ 棄権する競技者は招集完了時刻までに「欠場届」(招集所に準備)を競技者係に提出すること。

4 ナンバーカード(ビブス)について

(1) ナンバーカード(ビブス)は主催者が2枚配布する。

(2) ナンバーカードは所定の大きさのまま胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。

(3) 競歩種目については、別のナンバーカード(ビブス)を招集時に配布する。

(4) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識を招集時に配布する。

5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1) 番組編成は参加資格記録をもとに行う。(各県対抗であるが同一県・同一チームは配慮しない。)

(2) 400m以下の距離の種目について、予選が5組以上の場合は上位記録8名で決勝を実施する。

(3) 400mH及び800mはタイムレース決勝とし、番組編成は参加資格記録をもとにランキング下位者から順に行う。

(4) トラック競技におけるレーン順及びフィールド競技における試技順はプログラム記載順序による。次ラウンドについては記録掲
示板にて発表する。

(5) タイムを元にして次ラウンド進出者を決めるにあたり、最後の1枠に同成績がある場合は、写真判定員主任が0.001秒の実時間
を考慮して決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。(競技規則第167条2)

6 対抗得点について

(1) 県対抗とする。

(2) 各県の上位者2名で8位入賞した者の得点を合計する。

(3) 得点は、リレーを含め1位8点、2位7点、3位6点・・・8位1点とする。

7 競技について

(1) トラック競技

ア 計時はすべて写真判定装置を使用する。

イ スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)

ウ 競技規則第162条6により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

エ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュラインを通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

オ リレーに出場するチームは、所定のオーダー用紙（招集所に準備）を競技者係から受け取り、招集完了時刻の60分前までに1部を競技者係に提出すること。決勝においても同様とする。時間内に提出の無いチームは棄権したものとして処理する。

(2) フィールド競技

ア 競技場内での練習はすべて競技役員の手配に従うこと。

イ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人になるまで下表のとおりとする。ただし、当日の気象状況等によっては変更する場合がある。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳	男子	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
	女子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cm
棒高跳	男子	任意	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	10cm
	女子	任意	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cm

ウ 走幅跳・三段跳において2ピットで決勝を行う場合は、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。

エ 三段跳の踏切板について、男子は砂場から13mの位置に、女子は砂場から9m（Aピット）及び8m（Bピット）の位置に、それぞれ設置する。

8 競技用具について

(1) 競技に使用する用具は原則として主催者が用意したものとする。

(2) 棒高跳のポールについては個人所有のものを使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。

(3) 投てき用具については個人所有のものを持ち込みを認めるが、各種目競技開始の60分前までに南器具庫（フィニッシュ側）で検査を受けること。尚、検査に合格した投てき用具については一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。

(4) 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。

9 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内（走高跳及びやり投は12mm以内）とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

10 表彰について

(1) 各種目3位までの入賞者（リレーは1チーム4名）を表彰する。（賞状及びメダルを授与）

(2) 表彰は決勝結果アナウンス後ただちに実施する。3位までの入賞者はメインスタンド下エントランスホール表彰者控所にすみやかに集合すること。（都合により出席できない場合は必ず代理人を立てること。）

11 更衣室について

(1) 本競技場メインスタンド下室内練習場横の更衣室及び補助競技場の更衣室が利用できる。

(2) 更衣室は更衣にのみ使用し荷物は各自で管理する。

12 その他

(1) 開門時刻は競技日程表に記載する。

(2) 大会本部は本競技場1階に大会期間中設置する。

(3) 競技場内での疾病、傷害等に対する応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。（医務室は大会本部にある。）

(4) プログラム記載事項に訂正がある場合は、競技者本人または代理人が各県代表に申し出て、訂正手続きを行うこと。

(5) 競技結果等は、記録処理終了後、随時記録掲示板及び鳥取陸上競技協会ホームページに掲載する。

(6) 記録証明書を希望する競技者は、大会本部に申し出ること。（一通500円を添えて）

(7) 本競技会の優勝者が、必ずしも日本選手権の出場権を得るものではない。